

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

一般社団法人 東京都空手道連盟

空手道を究明し、その実践活動を通して広く斯道の普及、啓発を図り、健康な身体と精神を涵養^{カンヨウ}することにより、心身の健全な発展に寄与することを目的とした以下の事業を行なった。

1 空手道競技力の強化

選手強化練習等は新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、すべて中止とした。

日付	事業名	会場名	備考
中止	国体強化合宿	—	—
中止	強化練習	—	—
中止	ジュニア強化練習	—	—

2 空手道大会の開催

本連盟主催大会については、新型コロナウイルス感染症拡大による東京都の緊急事態宣言発令により、選手及び関係者の安全と健康を考慮してすべて中止とした。

日付	事業名	会場名	備考
中止	第73回都民体育大会 空手道競技 区郡市対抗小学生空手道競技大会	—	—
中止	第34回東京都小学生空手道選手権大会	—	—
中止	第50回東京都空手道選手権大会	—	—
中止	第34回東京都中学生空手道選手権大会 第19回東京都幼年空手道選手権大会	—	—
中止	第27回東京都シニアオープン空手道選手権大会	—	—

3 公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

(1) 公認指導員講習会を実施して優秀な指導者を育成するとともに、公認指導員有資格者については上級の資格を取得すべく、文部科学省及び公益財団法人日本スポーツ協会並びに公益財団法人東京都体育協会のスポーツ指導員講習会へより多くの会員が受講するよう推進した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、一部講習会では実技講習は開催せず、レポート提出をもって受講に変える措置をとった。

日付	事業名	会場名	参加者
中止	日スポ協公認コーチ2養成講習会	—	—
レポート対応	東京都公認指導員講習会	日本空手道会館	新規(中止) 更新30名

(2) 公認審判員講習会を実施して審判員を育成し、審判レベルを向上させるために、公益財団法人全日本空手道連盟の主催する地区及び全国公認審判員講習会へより多くの会員が受講するよう推進した。

日付	事業名	会場名	受講者
令和2年3月1日	公認都道府県組手審判員講習会	日本空手道会館	受講11名 合格8名
令和2年3月1日	東京都認定審判員講習会	日本空手道会館	受講19名 合格A7名 B6名
中止	第1回審判団編成講習会	—	—
中止	第2回審判団編成講習会	—	—
レポート対応	公認都道府県形審判員講習会	—	新規中止 更新13名
中止	女性審判員チャレンジ講習会 第1回女子ジュニア組手講習会	—	—
中止	女性審判員チャレンジ講習会 第2回女子ジュニア組手講習会	—	—
レポート対応	全空連指定形講習会	—	117名

4 公認段位審査会の開催

少年(8歳～15歳)の初段位・弐段位及び15歳以上の初段位から参段位までの公認段位審査会を主管・実施に加え、上級の公認段位を取得すべく、公益財団法人全日本空手道連盟の主催する公認段位審査会を受講するよう推進した。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、少年段位及び初～弐段は書類審査、参段位審査は講習会とした。

日付	事業名	会場名	合格者	備考
中止	春季公認段位審査会	—	—	—
令和2年9月27日	秋季公認段位審査会	日本空手道会館	少初204名, 少弐84名 初106名, 弐105名, 参49名	少年段位及び初～弐段は書類審査 参段位のみ実技審査
令和3年3月28日	公認参段位付与審査講習会	日本空手道会館	17名	—

5 空手道に関する関係諸団体の実施する諸事業に対する協力援助

(1)各競技団体(関東学生空手道連盟, 東京都高等学校体育連盟空手道部, 東京都中学校空手道連盟等)との交流を深め、関連する諸事業に協力した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、全日本空手道選手権大会(個人戦)及び全国中学生空手道選抜大会以外は中止となった。

ア 公益財団法人全日本空手道連盟

日付	事業名	会場名	参加者	備考
中止	第20回全日本少年少女空手道選手権大会	—	—	—
中止	日本スポーツマスターズ2020空手道競技	—	—	—
中止	第75回国民体育大会 空手道競技	—	—	—
中止	第16回全日本障がい者空手道競技大会	—	—	—
中止	第48回全日本空手道選手権大会(団体戦)	—	—	—
令和2年12月13日	第48回全日本空手道選手権大会(個人戦)	日本武道館	選手 5名	女子形第3位
令和3年3月28～30日	第14回全国中学生空手道選抜大会(彩の国杯)	長野県立武道館	選手 16名	男子2位 女子2位

(2)東京都教育委員会及び公益財団法人東京都体育協会並びに公益財団法人全日本空手道連盟等、関係団体の事業に対し積極的に協力した。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、大会関係はすべて中止となった。

ア 全日本空手道連盟関東地区協議会

日付	事業名	会場名	参加者	備考
中止	第8回関東少年少女空手道選手権大会	—	—	—
中止	第8回関東スポーツマスターズ空手道大会	—	—	—
中止	第1回関東地区組手審判講習会	—	—	—
中止	第51回関東空手道選手権大会	—	—	—
中止	第23回関東中学生空手道選手権大会	—	—	—
令和2年11月8日	公認四・五段位審査会	日本空手道会館	四段位26名 五段位22名	合格 四段位23名 五段位16名
令和2年11月22日	地区公認組手審判員講習会	日本空手道会館	受審12名	合格9名
令和3年3月13日	地区公認形審判員講習会	神奈川県・岩崎学園横浜 デジタルアーツ専門学校	受審15名	合格5名
中止	第2回関東地区組手審判講習会	—	—	—

イ 公益財団法人日本武道館

日付	事業名	会場名	参加者
中止	令和2年度全日本少年少女武道錬成大会	—	—

ウ 東京武道館

日 付	事業名	会場名	参加者
中止	第20回東京武道館杯空手道競技	—	—

エ 全国中学校空手道連盟

日 付	事業名	会場名	参加者	備考
中止	第28回全国中学生空手道選手権大会	—	—	—

オ 公認指導員並びに審判員の養成と資格認定

日 付	事業名	会場名	参加者	備考
令和2年7月5日	日スポ協公認コーチ1・2更新義務講習会	神奈川県立武道館	受講60名	レポート提出
令和2年9月6日	日スポ協公認コーチ3・4更新義務講習会	日本空手道会館	受講7名	レポート提出
令和2年9月19・20日	全国公認組手審判員講習会(Aランク)	日本空手道会館	受審15名	合格1名 補1名
令和2年10月10日	公認六段位審査会	日本空手道会館	受審12名	合格8名
令和2年10月11日	公認七段位審査会	日本空手道会館	受審6名	合格2名
令和2年10月31日 ・11月1日	全国公認形審判員講習会	日本空手道会館	受審2名 Aランク3名	合格1名 合格1名
令和2年11月14日	公認六段位審査会	エディオンアリーナ大阪	受審2名	合格1名
令和2年11月15日	公認七段位審査会	エディオンアリーナ大阪	受審3名	合格1名
令和2年11月15日	公認八段位審査会	エディオンアリーナ大阪	受審3名	合格0名
令和2年11月21・22日	全国公認組手審判員講習会	日本空手道会館	受審13名	合格3名

(5) 選手選考会の開催

日 付	事業名	会場名	参加者
中止	都空連強化選手選考会(成年)	—	—
中止	都空連強化選手選考会(少年)	—	—
中止	全国中学生・関東中学生大会代表選手選考会	—	—
中止	日本スポーツマスターズ・関東スポーツマスターズ代表選手選考会	—	—
中止	関東大会代表選手選考会	—	—
令和2年10月4日	全日本大会代表選手選考会(高校生)	日本空手道会館	選手26名
令和2年10月25日	全日本大会代表選手選考会(成年・高校生)	日本空手道会館	選手16名

6 空手道に関する刊行物の発行

本連盟の活動内容や事業、関係諸団体や各区郡市連盟の諸事業に関しては、ホームページ等を活用し、情報提供した。

7 その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

(1) 財源の確保の基礎となる会員等の拡大に努力した。

ア 通常会員及びサポーター会員募集を積極展開し、各方面に協力を求めた結果、会員登録数11,100人を達成した。

(2) 選手権大会及び諸事業を推進させるために、広く財源を求めた。

(3) 会員一人ひとりが参加できるような運営形態を維持していくために、各区郡市連盟の行事を後援した。

(4) 総会及び理事会等の開催

ア 総会を年2回、定款の定めるところにより開催した。

イ 理事会を定款の定めるところにより開催した。

(5) 幹部中央研修会等のあらゆる機会をとらえて、連盟の運営等についての意見を広く掌握し、組織の充実・強化を図った。

日 付	事 業 名	会 場 名	参 加 者
令和3年1月12日	令和2年度幹部中央研修会	リモート会議	25名

(7) 斯道を通じて広く都民の体位向上と、青少年層に対する健全な心身の育成に重点を置き、区郡市連盟を基盤とした本連盟の充実発展を図った。なお、一部事業については、新柄コロナ感染拡大の影響で実施を見送った。

(8) 生涯スポーツの推進として実施していた中高年層への普及活動は、新型コロナ感染拡大予防の観点から自粛した。

(9) 障がい者のための強化練習については、新型コロナ感染拡大防止のための施設閉鎖等により、実施できなかった。

(10) エンブレム、ネクタイ、資格証などあっせんを行なった。

(11) インターネットのホームページ及びフェイスブックの活用により、広く情報収集・提供を図った。

(12) 会員登録増強を目指し、サポーター会員制度を充実させ、各区郡市連盟へ積極的に働きかけたが、新型コロナ感染症の影響で、大会等の主催事業の大半が中止となった結果、2,651名の登録にとどまった。